

# 2年ぶり「うづりんの秋」

空高く「りつりんの秋」が2年ぶりに戻ってきました。2022年度



センター玄関前には、白、黄、紫の3色の大菊の鉢植えが展示され、文化祭ムードを醸成しました。午前10時、高田稔コミュニティ協議会会長の開催宣言で幕開け。

2階大ホールでのステージ発表初日は、ハッピーまろん、空手道修慧会、元氣アップ、しゃぼんコーラス、社交ダンス、ブアナニアロハ、2日目はイタリア音楽を歌う会、たちばな会、太極拳、カラオケなどで盛り上がり、出演者は元気いっぱい演技、歌などを披露しました。

## 作品展示は会期延長

「第17回栗林校区文化祭」（同校区コミュニティ協議会主催、生涯学習部会主管）が10月29日（土）・30日（日）の2日間、栗林コミュニティセンターで開催されました。コロナ防止のため、会食バザーを除くフルメニューでのプログラム。絶好の秋晴れの下、校区の人たちの笑顔とおしゃべりの輪が広がりました。



恒例の婦人会バザーは、野菜や果物などの産直市や、家庭で眠っている物を持ち寄った「もったいないバザー」が人気を集めていました。このほか、健康相談コーナーもあり、血圧や体脂肪測定を行い、健康チェックをしていました。一方、作品展示は「3密」を避けるため、会期を前期（10月29-31日）と後期（11月1-4日）の2回に分

け、硬筆、絵手紙、手芸、かな書道、折紙、川柳などが展示され、1年間の学習成果をじっくりと鑑賞してもらいました。

### 安全・安心の居場所づくり 保護司会が公開研究会



松地区保護司会中央支部第一分区）が開かれ、約40人が耳を傾けました。

まず、先輩から大麻を教えられた16歳女子少年の事例が朗読され、問題を提起。続いて、料治謙一郎・高松保護観察所企画調整課長が事例の課題を解説。料治課長は「犯罪や非行をした人が立ち直るためには保護司と共に彼等の立ち直りへの意欲を認め、見守り、支えていく環境づくり、そして就労支援など地域のチカラが欠かせない」とアドバイス。孤独・孤立・差別などがキーワードになることを示唆しました。このあと、会場からの質疑応答があり、非行に走らない居場所づくり、人間関係の大切さ、人をおいやる気持ちを醸成する一などの貴重な提言がありました。

### 3年ぶりに 三校合同演奏会



栗林小・桜町中・高松一高の合同演奏会が「文化の日」の11月3日、栗林小体育館で開催されました。コロナ禍のため、3年ぶりの開催とあって、児童、生徒たちは息の合った合唱や力強い楽器演奏で、一段と盛り上がりつつありました。栗林小の4、6年生の栗林オペレッタ「音楽で街を元気に！」で口火を切り、躍動感たっぷり、練習の成果を披露しました。

## 息の合った歌と力強い楽器

続いて、栗林小合唱部のコーラス、桜町中吹奏楽部が音楽の魅力と楽器で伝えていました。高松一高合唱部は、歌だけでなく曲にアレンジしたコミカルな演技で笑いを誘い、会場を沸かせました。トリを飾ったのは、一高の吹奏楽部の一員。百人近い部員がそれぞれの楽器を携えて勢揃いした舞台は圧巻。代表者が「心を一つに、明るく元気に活動したい」と宣言。選曲も若者らしく、フレッシュな心弾むメロディーが次々と演奏され、本格的な演奏会を聞いているような臨場感があり、会場からは盛大な拍手が送られました。

## インバウンド復活に願いを込め 栗林公園おもてなしクリーン作戦



さわやかな秋晴れの下、入園者の笑顔がはじけました。インバウンドの復活に願いを込めた「栗林公園おもてなしクリーン作戦2022」（栗林校区コミュニティ協議会主催、同実行委員会主管）が、10月23日（日）、午前9時30分から2時間、栗林公園東門駐車場で開催されま



園フォトコンテストの入賞作品、環境啓発ポスターなどが展示されました。このあと、公園事務所前に入園者には、環境に配慮した特製の紙製オリジナルファイルやフレンド。ファイルの題字は、高松一高美術専門コース2年・大西優太さんがデザイン。コロナの規制が緩和されたとあって、県外からの大型観光バスも訪れ、秋の移ろいに変化する公園の自然美を堪能していました。

7回目を迎え、校区内の企業や各種団体のほか、小・中・高生や賛同した一般市民ら約300人が参加。一行は、まず三木武吉像からガスト間と、公園東門駐車場や東門前地下歩道を清掃奉仕。地下歩道揭示スペースには、栗林公

「第4回元氣いきいきウォーキング★りつりん」（栗林校区コミュニティ協議会主催、栗林地区保健委員会・市保健センター主管）が10月16日（日）、栗林コミュニティセンター↓大栗橋（往復3km）と同センター↓三条橋（往復4km）の2コースに約40人が参加して開かれました。

実行委員を務めた高田 稔 校長は「多くの方の協力があり、作戦は秋の一大イベントとして定着しました。外国人の入園者の姿も見られ、少しずつ賑わいを取り戻しています」と、手ごたえを語っていました。

## 秋の一日スポーツを楽しもう

### ファミリースポーツフェスティバル



栗林地区体育協会（早谷川悟会長）は秋晴れの10月10日、栗林小学校で「ファミリースポーツフェスティバル」を開催しました。小さい子どもから年配の方まで約160人が参加し



企画した早谷川会長は、スポーツの日、身近にある小学校で思い思いのスポーツで楽しんでる姿を見て「皆さん充実した一日となったのでは」と語っていました。

## ふるさとの川を散策

### 元氣いきいきウォーキング



ウォークに先立ち、健康運動指導士の篠原慶太さんから、準備運動や健康な歩き方の講話に耳を傾け、午前11時前、ゼッケンを付け2班に分かれてスタート。両コースとも「御坊川遊歩道」を歩き、日ごろ見慣れた景観を愛で、歴史的な建造物に目を見張りながら、さわやかな秋本番を楽しんでいました。